

第125回(2019年10月度)ウォーキング同好会の報告

明け方から小雨の影響で少し蒸し暑さを感じつつ豊かな自然に触れながら須々万の歴史と魅力が発見出来る「須々万マツノ入」のウォーキングを10月19日(土)に実施。当初集合場所としていた須々万公民館の駐車場が満車の為、急遽飛龍八幡宮に集合場所を変更。前回とは反対のルート(飛龍八幡宮→亀甲竹自生地→高樋地区→沼城小前→沼城址→山崎伊豆守自刃の地→保福寺→沼城橋→飛龍八幡宮)をコースとして爽やかな風を感じながら飛龍八幡宮や大内陣営と毛利元就とが戦った場所など歴史にも触れながらのウォーキングを実施。

<参考>須々万ロマンスについて ☆第1回：2008年8月開催、第100回：2017年6月開催

- 10時15分：急遽集合場所を変更した飛龍八幡宮の駐車場を出発。
- 10時35分：須々万中の正門入り口前を經由し、亀甲竹自生地に到着。(暫く鑑賞後、出発)
- 11時30分：高樋地区、沼城小前、沼城址等を經由し、山崎伊豆守興盛自刃の地(石碑)に到着。
- 11時55分：保福寺方面に向けて出発。沼城橋を經由し、飛龍八幡宮の境内に到着。

境内で昼食後、12時30分に解散。

(本日の万歩計：9,500歩、参加者：11名)

以上、次回のウォーキングも宜しくお願い致します。

A Y S A 交流啓発・健康福祉部会

(ウォーキング同好会)世話人：長棟章



沼城址



ウォーキング中



ウォーキング中



ウォーキング中



ウォーキング中



参加者の皆様



休憩中



参加者の皆様



大玉スギ



亀甲竹



飛龍八幡宮



ウォーキング中



ウォーキング中



田園風景



ウォーキング中

<参考>：須々万ロマンスコースの看板について

- 亀甲竹(キッコク)：孟宗竹の突然変異で一節おきに交互に膨らんで亀甲模様になった竹。
- 沼城址：毛利元就の防長制圧において最大の激戦となったところがここ沼城の戦い。
- 飛龍八幡宮：南北朝時代の後円融天皇の時代(14世紀後半頃)に京都男山から降臨し社殿を建立したことに始まる。
- 大玉スギ：樹高34mの県内で最も大きい樹木。

次回(第126回)のウォーキングは、11月16日(土)に実施予定です



山崎伊豆守自刃の地